

4.4 従業員の人材開発と優秀な人材の確保・維持

4.4.1 基本的な考え方

富士フィルムグループでは、個の成長がひいては会社全体の発展につながると考え、人材育成を大変重視しています。変化が激しい事業環境の中でグローバルな成長を加速していくためには、各自がプロフェッショナルとしての強みを持つと同時に、広い視野で社会の変化をいち早くとらえ、対応し、自ら変革を起こすことが必要不可欠です。従業員一人ひとりが自身の能力を伸ばし、持てる力を最大限に発揮して仕事に取り組み、より良いキャリアを形成できるよう、個と組織の強化に取り組んでいます。

4.4.2 人材開発プログラム

各社の人材育成の考え方

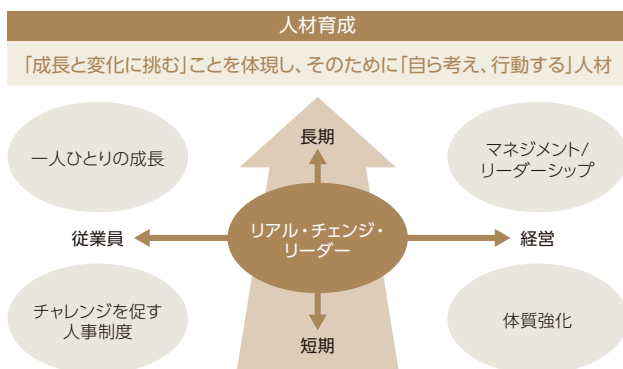
富士フィルムの人材育成マップ



富士フィルムのグローバル人材育成研修

●日本人社員向け	
海外赴任予定者向け	海外赴任直前研修 海外経営人材育成研修
海外派遣型研修	短期テーマ派遣制度 海外トレーニー制度 海外留学制度
希望者向け	語学レッスン、通信教育(語学)
技術系向け	MOT(技術経営)研修
●海外現地法人社員向け	
グローバルリーダー育成	FUJIFILM Global Leadership Seminar FUJIFILM Regional Leadership Seminar
企業理念の浸透	FUJIFILM WAY研修

富士ゼロックスの目指す人材像



従業員教育実績

2019年3月31日現在

	トータル時間	従業員1人あたりの時間	トータルコスト	従業員1人あたりのコスト
富士フィルム	26,752時間	11.25時間	169,756千円	71,386円
富士ゼロックス*	88,950時間	11.4時間	274,992千円	35,138円

* 役員、被出向者を含む

4.4.3 業績評価

	目標管理による評価を行っている従業員の割合
富士フィルムグループ	100%
富士フィルム	100%
富士ゼロックス	100%

4.4.4 従業員エンゲージメント

富士フィルムグループ従業員意識調査

2017年12月にグループ全従業員93,000人を対象に、会社の方針に対する理解やコンプライアンスに関する意識調査を実施しました(回答率97%)。このうち、「富士フィルムグループで働くことの誇りを感じている」従業員は84%でした。

富士ゼロックス従業員意識調査

上記のグループ全社における意識調査に加え、富士ゼロックスでは国内関連・販売会社及び海外販売会社において、全社共通の指標「コア・モラル^{※1}」に各国・地域で必要な要素を加えた従業員意識調査をそれぞれ実施してきました。2018年度は、この調査のうち国内向けについて「エンゲージメントサーベイ」として設問内容を改定し、国内外ともに、過去の調査内容との継続性を維持しながら、従業員の会社に対する自発的な貢献意欲と期待される行動に対する発揮度合いを把握できるようにしました。2018年度調査では、アンケート実施対象従業員の94.8%にあたる30,283人が回答を実施しています。

対象範囲	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
従業員意識指標「コア・モラル」のスコア ^{※2}				
富士ゼロックス(単独)	3.36	3.38	3.33	3.37
国内の販売会社	3.43	3.40	3.35	3.34
国内の関連会社(販売会社除く)	3.23	3.26	3.26	3.27
海外の関連会社(営業・事務職)	—	3.55	3.56	3.53

※1 「コア・モラル」とは富士ゼロックスが従業員の士気を測定するうえで重要と考える項目のことで、「仕事のやりがい」「職場の働きがい」「上司への信頼度」「人事運営への満足度」「組織運営への満足度」の5項目を指す

※2 富士ゼロックス及び国内外の関連会社・販売会社の従業員を対象とした意識調査「ESサーベイ」における、上記「コア・モラル」の平均スコア(満点を5.00ポイントとする)